

コンテンツ活用の校内普及の取り組み

新宮市立三輪崎小学校

教諭 嶋田雅昭

1. 三輪崎小学校での取り組み

デジタルコンテンツの実践を始めるまでの校内ネットワークの整備

6月 三輪崎小ネットデイ 各普通教室に情報コンセントを設置

9月 城南中学校より中古パソコン 12台を譲り受け、各教室に設置（3年生以上）

「研究協力校」としての扱い … 個人ではなく、集団で取り組もうとする意思表示。

3～5年生 5人 12実践〔学級数20（各学年3クラス）児童数534名〕

月	学年・教科（単元）
9	5年・算数（図形）5年・図工（ここでパチッ） 3年・総合（点字）4年・算数（三角形をしきつめよう）
10	5年・社会（自動車工業のさかんな地域） 4年・理科（月を見よう）
11	5年・理科（わたしたちの气象台） 4年・社会（安全な暮らしを守る）
12	4年・理科（冬の星1・2）5年・社会（わたしたちの暮らしをささえる情報）
1	4年・算数（広さを調べよう）

校内普及のポイント

- ・ **みんなで取り組もうとする姿勢** … 「わかる授業」をキーワードに、同じ土俵へ。
授業実施日までに全職員に指導案を配り、職朝で授業参観を呼びかけた。管理職や教務主任もよく足を運んでくれた。みんなの知恵や経験が授業に生かされたように思う。
- ・ **コンテンツ活用に関する情報の共有化** … 全体およびコアメンバーへの情報提供。
職員全体には取り組みの概要を理解してもらえるような資料を配布した。実践を進めるコアメンバーには必要な情報をメールで転送し、理解を深める参考にしてもらった。
- ・ **コーディネイター的な役割** … 基本は黒子だが、自分が顔を出す場面も必要。
出るところと引くところのバランスが大切。授業研究会としての設定、野中先生の学校訪問、地方紙への取材要請など、他の教育関係組織やメディアとの連携も心がけた。

- 課題
- ・ 学年（メンバー）による格差 … コンピュータリテラシーの壁。
 - ・ ネットワーク環境の整備 … もっと手軽に、もっと使いやすく役に立つものを。
 - ・ 「有志」による自主的な取り組み … 広がりも深まりも一定の範囲内。

2. 校内から身近な地域へ

10月24日 紀南教育研修所 算数教育研修講座（日高地方以南）

5年生算数「タングラム」の実践発表。公的な研修会でできるのにデジコンの取り組みを紹介することができた。機器の値段やソフトの機能に関する質問があった。

11月22日 新宮市教育研究会 視聴覚情報部会 授業研究会（新宮市）

新宮市立王子小学校で3年生算数「10000より大きな数」の自作コンテンツ活用のTTによる研究授業をおこない、同校の校内研にも参加した。視聴覚情報部の予算でマグネットスクリーンを購入して使用したが、他校での使用も奨励していきたい。複数のノートパソコンを使った一斉指導と個別学習の中間的な授業形態が印象に残った。

12月7日 第2回ねっとわ〜く熊野 in 勝浦（東牟婁地方）

ネットワークの構築および活用をテーマとした自主的な情報教育関係の研究会で、勝浦小学校で実施した。教育委員会の後援、市教研との共催を取得し、約70人が参加した。午前の全体会の実践発表で三輪崎小のコンテンツ活用の実践を紹介した。5年生主任が社会科の実践を、TT担当者が算数および総合の実践をそれぞれ発表した。午後のブースコーナーではデジコン活用ブースを設け、三輪崎小・熊野川小の実践を紹介し、興味を持った人達に指導案を持ち帰ってもらった。

1月25～26日 第3回2005年の教室を考える会（幕張セミナーハウス）

産・学・官の連携が主なテーマの全国的な情報教育の研究会で、「Web学級日誌でつながる小中連携の取り組み」というテーマでポスターセッションに参加した。その際、おまけの資料としてデジコン活用の取り組みを紹介した。三輪崎小の指導案をテーブルに用意しておいたが、それらはすぐに無くなるほど反応があった。研究会を通じていろいろな人と話をしたが、情報教育の研究会のわりにデジコンのことを知らない人も多かった。もしかしたら先進的な取り組みかもしれないと思うようになった。プレゼントタイムがあり、前回1本、今回もう1本、三輪崎小にマグネットスクリーンが当たった。

3. これまでの活動を振り返って

情報教育の実践において、一人でいくらがんばっても、その人が学校を去ればそれで終わりという場合がしばしばある。みんなで取り組み、「システム」として情報教育のメリットを保証していくことが大切であると考えている。教師個人の力量に依存しないシステム作り（ハード面・ソフト面）を目指したい。各教科におけるデジタルコンテンツの活用は、一つのよいきっかけになるはずである。

足元の身近な実践を持って外に出る。外からの意見をもらい、自分達の実践に生かす。外に出るといろいろな人とのつながりができ、それらがまた実践に生かされる。自分達の取り組みを外へ広げていく意味はそこにあると思う。